

# 2022年3月期 第3四半期 決算説明資料



株式会社オートバックスセブン

2022年1月31日

注：当社は第3四半期において決算説明会を行っておりません。  
この資料は、決算をよりご理解いただくために、参考までに作成している資料です。

# 目次

## 2022年3月期 第3四半期累計期間 業績

- |                             |      |
|-----------------------------|------|
| 1. 全体概況                     | P. 2 |
| 2. 国内オートバックス事業              | P. 5 |
| 3. 海外事業                     | P. 7 |
| 4. ディーラー・BtoB・オンラインアライアンス事業 | P. 9 |

## TOPICS

- |                               |      |
|-------------------------------|------|
| 5. TOPICS（5カ年ローリングプラン、SDGsなど） | P.11 |
| <hr/>                         |      |
| 6. その他資料                      | P.24 |

# 2022年3月期3Q累計 連結損益計算書

**夏季の感染急拡大の影響を受けるも、戦略的な冬季需要の獲得などにより増収  
販売促進の強化や、将来に向けた先行費用により販管費は増加**

国内オートバックス事業は、夏季の新型コロナ感染急拡大による影響を受けたものの、戦略的な販売促進などにより、冬用タイヤホイールなどの需要を獲得。全体としては、前年コロナ禍で抑制していた販売促進の強化や、4月に連結グループ会社化した2社のコスト純増もあり販管費は増加も、通期連結営業利益計画に対し順調な進捗。

(単位：億円)	2022年3月期 3Q累計			2021年3月期 3Q累計	
	実績	売上比	前期比	実績	前期比
連結売上高	1,719 (1,799)		+0.3% (+5.0%)	1,714	▲ 2.9%
売上総利益	573 (582)	33.4%	+2.2% (+3.9%)	561	▲ 0.2%
販管費	485 (489)	28.2%	+6.4% (+7.2%)	456	▲ 3.6%
営業利益	88 (93)	5.1%	▲15.9% (▲10.7%)	104	+18.0%
営業外収支	6 (6)	0.4%	▲21.5% (▲21.5%)	8	+34.8%
経常利益	94 (99)	5.5%	▲16.3% (▲11.5%)	112	+19.1%
親会社株主帰属利益	61	3.6%	▲16.5%	73	+18.2%

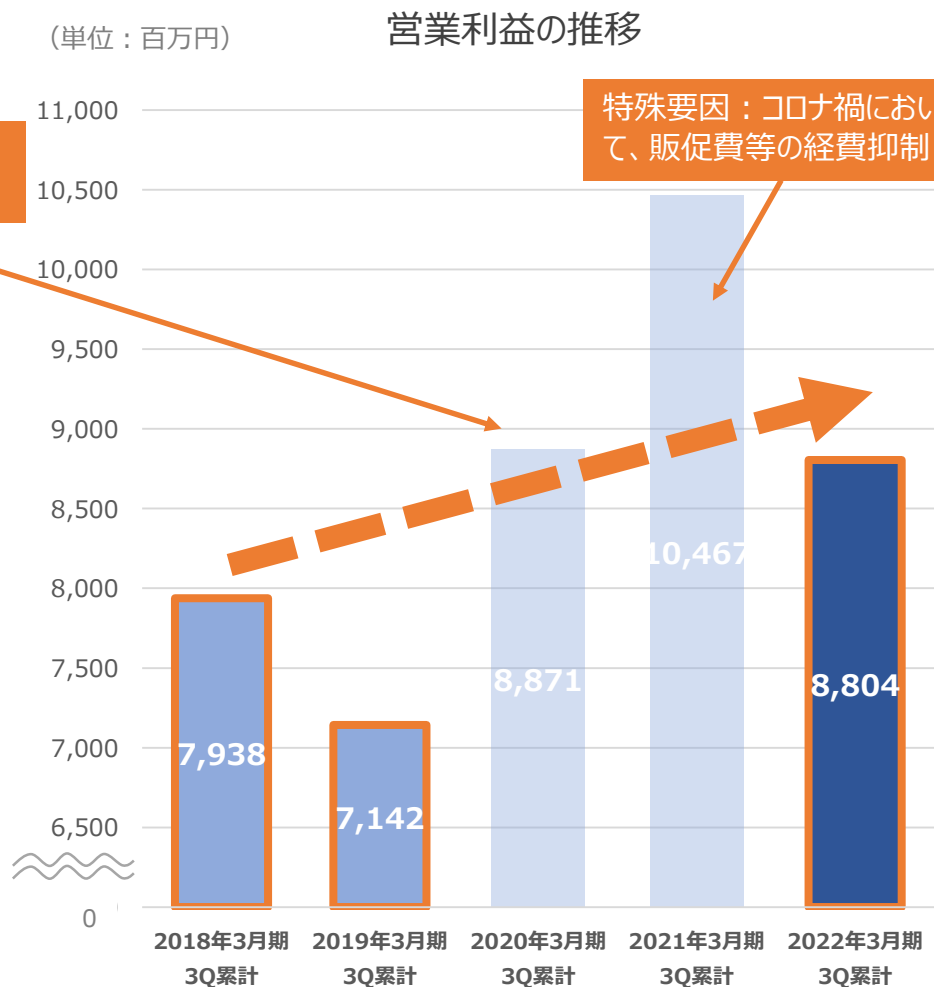
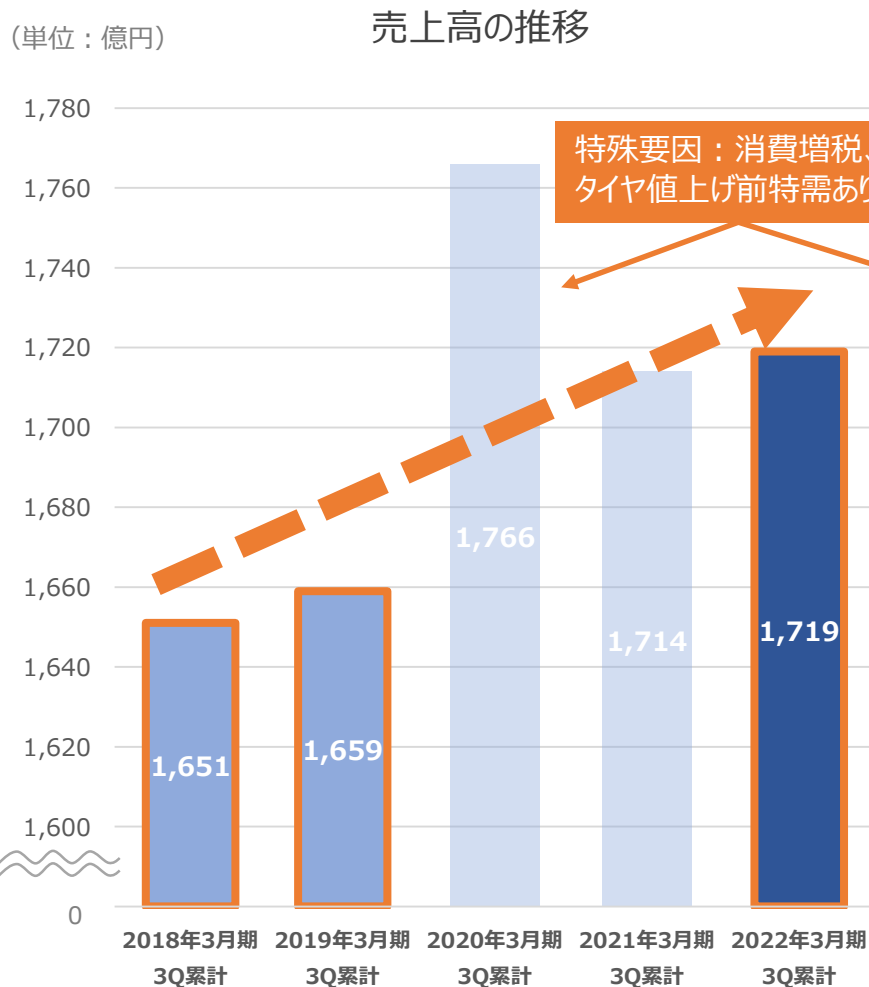
※表示単位未満は切り捨て  
※対売上比・前期比は円単位で計算

※上段は当期の実績値と前期の実績値を単純比較した場合の数値を記載  
※下段（ ）は「収益認識に関する会計基準」等適用しなかった場合の数値を記載

# 2022年3月期3Q累計 連結売上高・営業利益5カ年推移

前期比では増収減益も、特殊要因のない例年比較<sup>※</sup>では増収増益

※2018年3月期3Q累計、2019年3月期3Q累計比較



※表示単位未満は切り捨て

※前連結会計年度以前については、新たな表示方法による組替えを行っておりません

# 2022年3月期3Q累計 報告セグメント情報

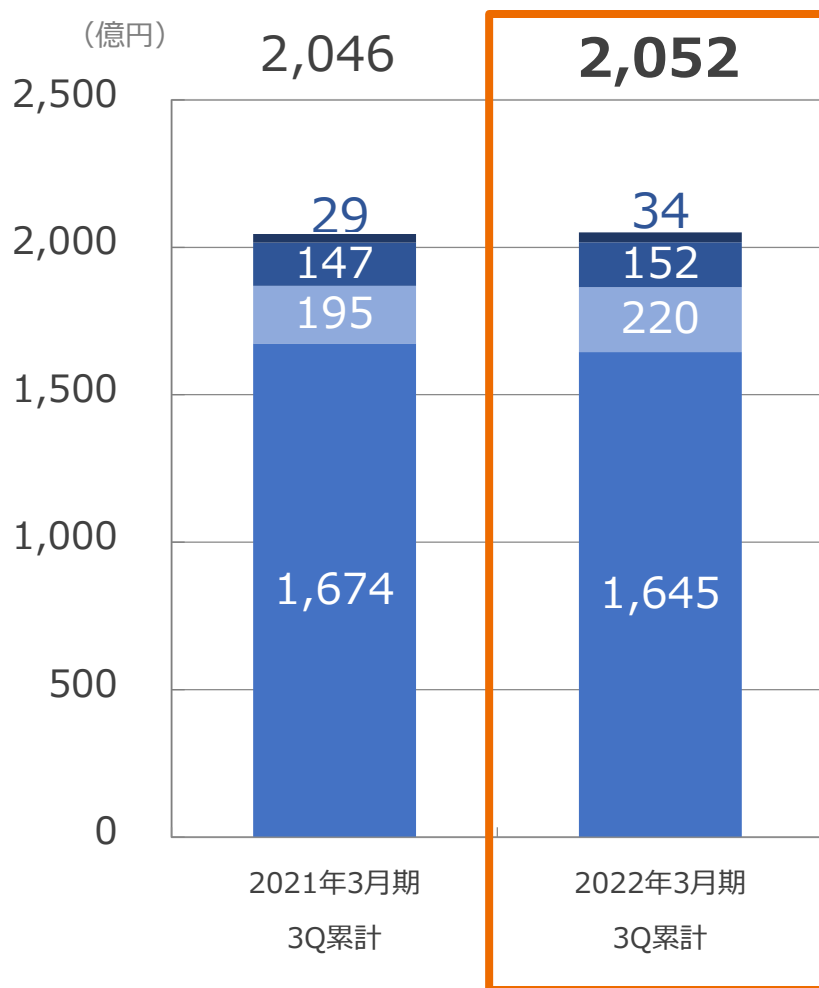
(単位：百万円)		2022年3月期 3Q累計	2021年3月期 3Q累計	参考前期比	総括
国内 オートバックス 事業	総売上高	133,610	139,552	▲4.3%	夏季は感染急拡大により売上減少も、戦略的な販売促進などにより、冬用タイヤホイールなどの需要を獲得。カーエレは世界的な半導体不足の影響あり。
	売上総利益	44,512	45,148	▲1.4%	
	販管費	29,703	29,615	+0.3%	
	営業利益	14,808	15,532	▲4.7%	
海外事業	総売上高	8,297	7,650	+8.5%	東南アジアは感染拡大の影響を受けるも、フランスの売上回復とオーストラリアの卸売好調により増収。販管費は、前期の反動で人件費・設備費が増加。
	売上総利益	3,666	3,531	+3.8%	
	販管費	3,884	3,577	+8.6%	
	営業利益	▲217	▲45	-	
ディーラー・ BtoB・ オンライン アライアンス事業	総売上高	37,545	31,553	+19.0%	ディーラー・BtoBは、既存事業の好調に加え、4月にグループ会社化した2社などが売上・粗利に寄与。事業拡大に向けた先行費用により販管費増加。
	売上総利益	7,884	6,463	+22.0%	
	販管費	7,910	6,314	+25.3%	
	営業利益	▲25	149	-	
その他の事業	総売上高	3,758	2,599	+44.6%	ライフスタイル事業の拡大などにもない、売上および販管費が増加。
	売上総利益	1,288	969	+32.9%	
	販管費	1,837	1,187	+54.7%	
	営業利益	▲549	▲218	-	
調整額	営業利益	▲5,211	▲4,950	-	

※表示単位未満は切り捨て  
※前期比は円単位で計算

※前連結会計年度については、新たな表示方法による組替えを行っておりません。参考前期比は、当期の実績値と前期の実績値を単純比較した場合の数値を記載しています。

# 2022年3月期3Q累計 国内店舗売上高

## 国内店舗売上高 2,052億円 前期比 +0.3%



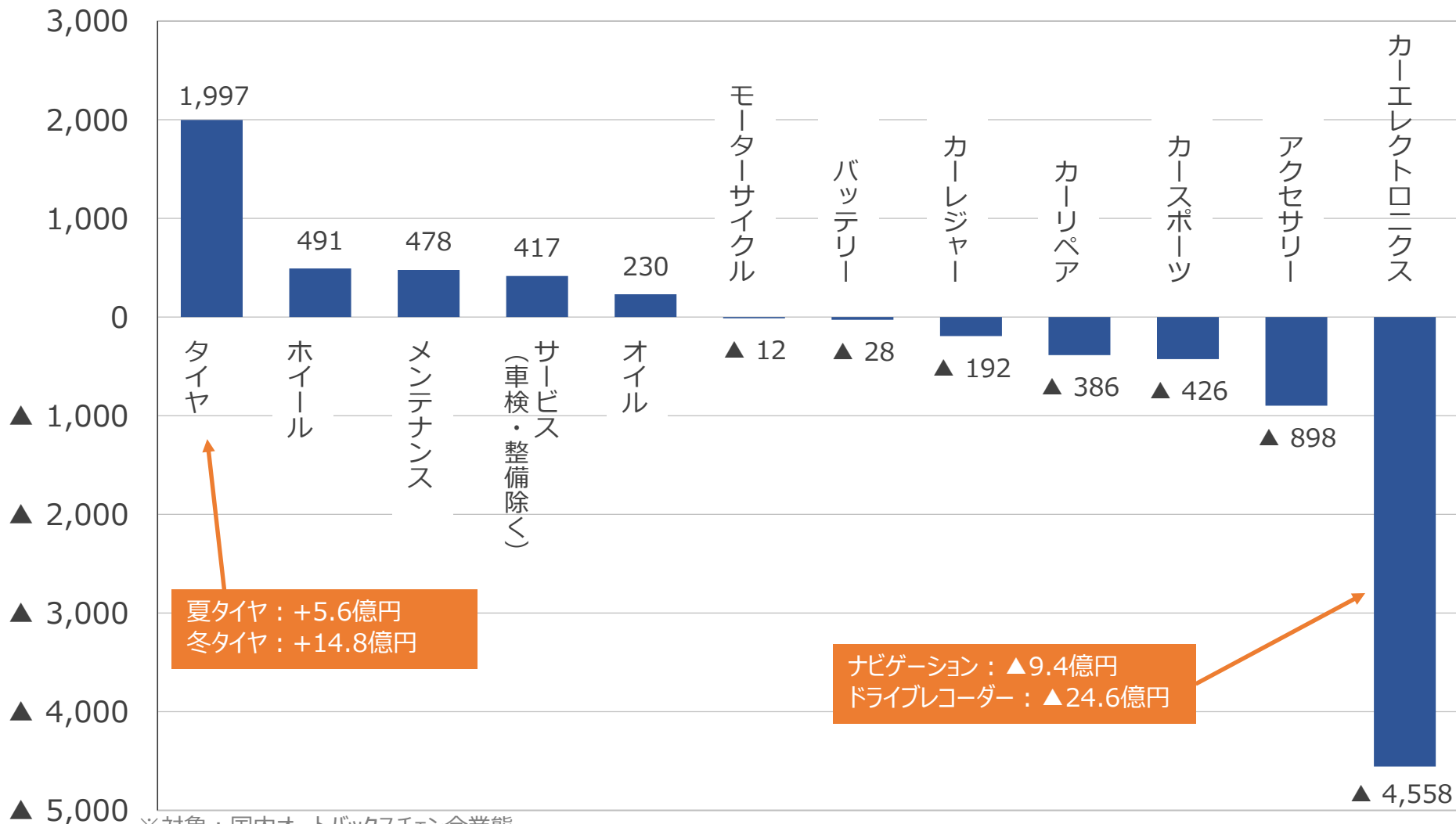
	実績	前期比
中古品・燃料	34億円	+16.5%
車検・整備	152億円	+3.8%
	46.9万台	+3.0%
指定認証拠点	434店	前期末+4店
車買取・販売	220億円	+12.7%
	21,610台	+2.6%
カーズ加盟店舗	392店	前期末▲10店
カー用品販売	1,645億円	▲1.8%

※対象：国内オートバックスチェーン全業態、※表示単位未満切り捨て  
 ※前期比は円単位で計算

# 2022年3月期3Q累計 商品別 カー用品売上高増減額

## 商品別 カー用品小売上高増減額（前期比 全店ベース）

(百万円)

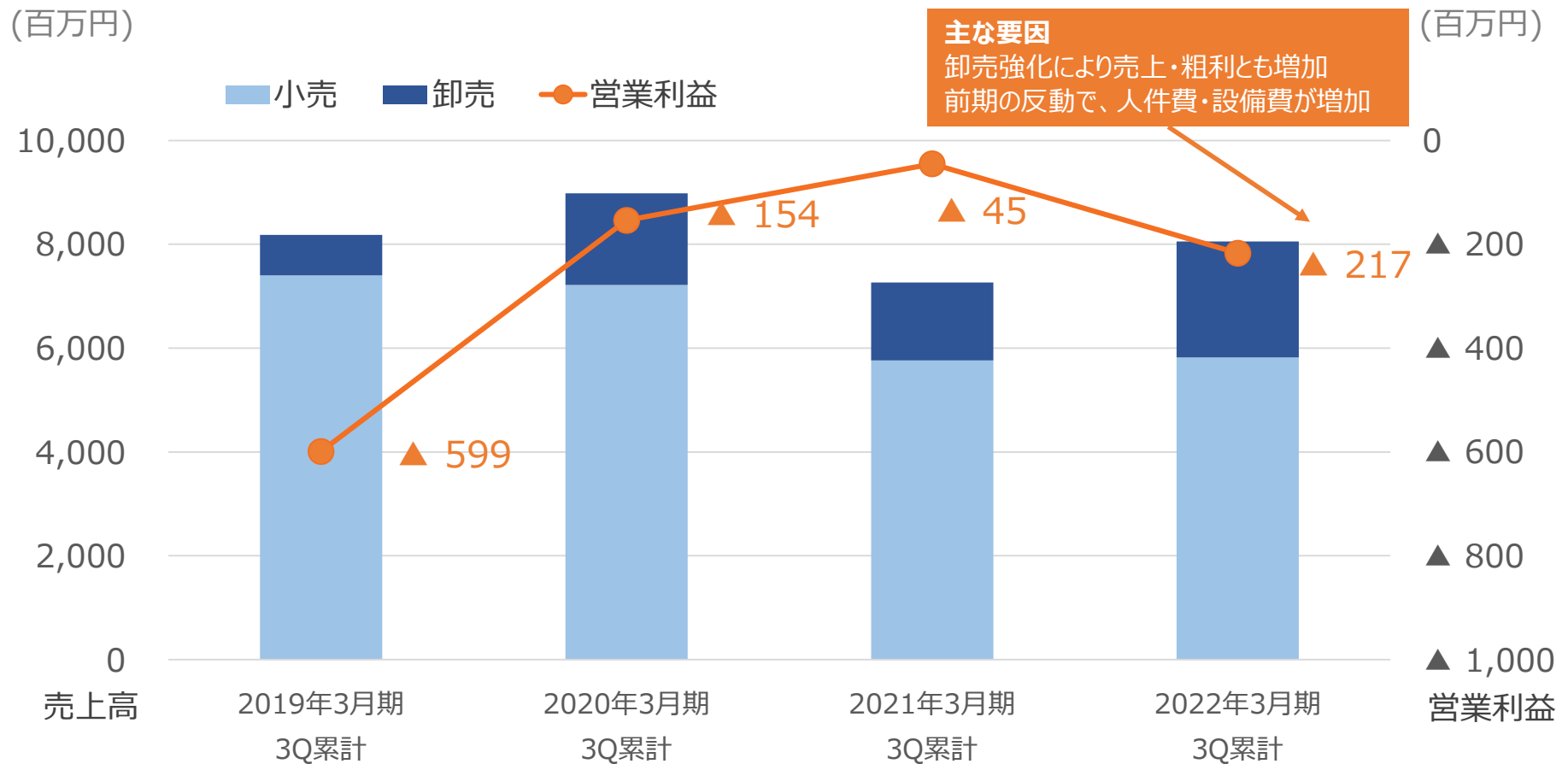


※対象：国内オートバックスチェーン全業態

※表示単位未満は切り捨て

# 2022年3月期3Q累計 海外事業 売上高・営業利益推移

好調なオーストラリアを中心に、卸売強化により売上増。  
前期の反動で販管費増





# 2022年3月期3Q累計 海外連結子会社の状況

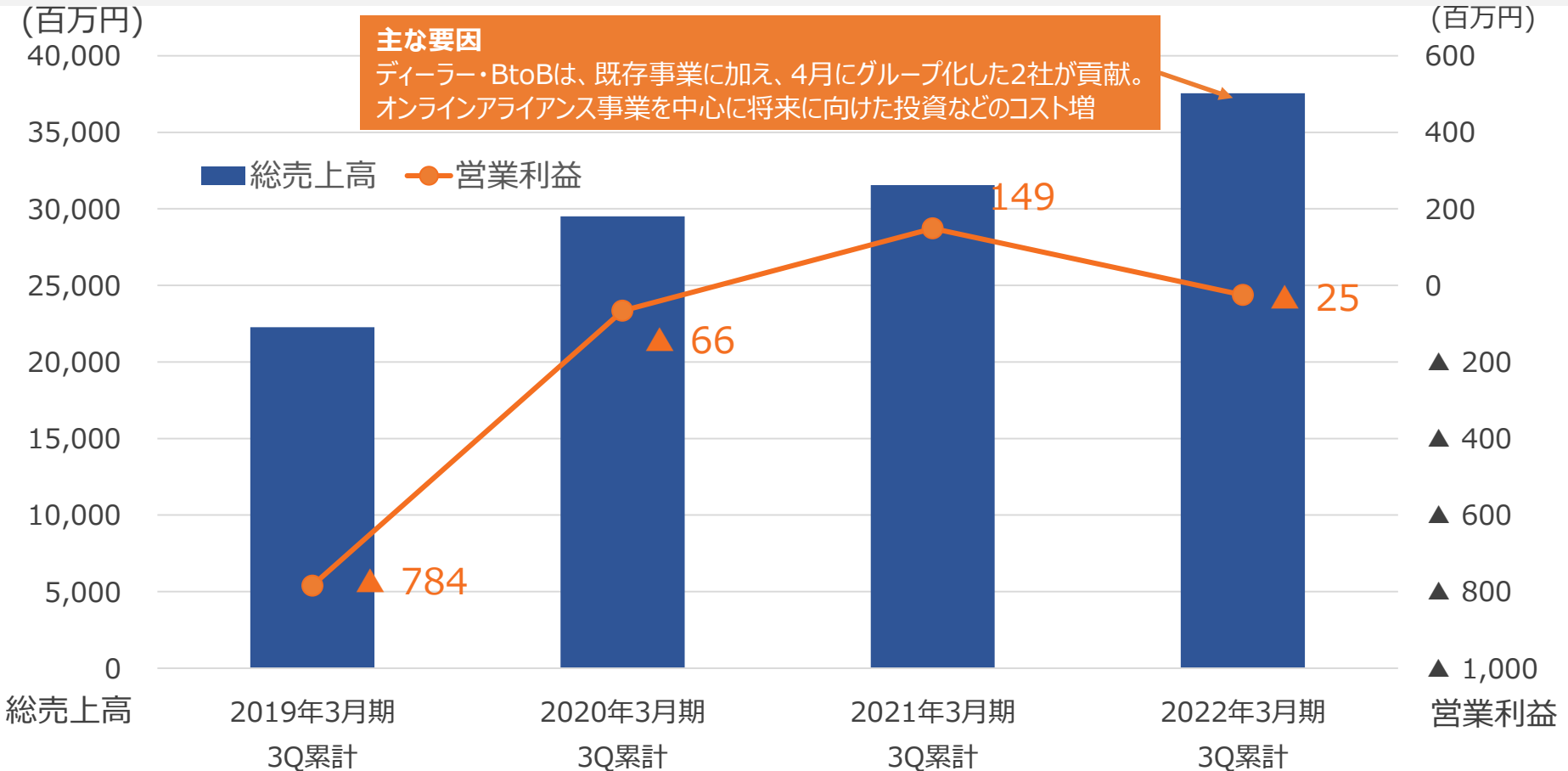
(単位：  
百万円)

	フランス		シンガポール		中国		マレーシア		オーストラリア		タイ	
店舗数	10		2		0		4		0		22	
累計期間	22/3 3Q	21/3 3Q	22/3 3Q	21/3 3Q	22/3 3Q	21/3 3Q	22/3 3Q	21/3 3Q	22/3 3Q	21/3 3Q	22/3 3Q	21/3 3Q
売上高	4,856	4,350	947	1,154	724	626	39	25	1,758	1,243	0	326
販管費	2,522	2,393	395	350	179	138	25	26	404	322	0	136
営業利益	▲6	▲85	▲16	187	▲35	17	▲9	▲14	115	52	0	▲32
状況	感染拡大による外出規制と解除を繰り返し、不安定な状況も売上は回復。販管費は、前期に家賃等の一部減額があったことによる反動で増加も、営業損失は縮小。		特に9月の感染拡大が著しく、ロックダウンの影響により売上が減少。板金整備の子会社SK AUTOMOBILE PTE. LTD.においては、交通量の減少にともない修理件数が減少。		オーソライズドディーラー（認定店）を増加させ、新規卸売先を開拓したことなどにより、卸売が増加。販管費は前年コロナ禍での活動抑制による反動で増加。		政府による断続的な活動制限令により一部業務停止指示あり。感染も拡大しており厳しい営業状況が続く。経費を削減し営業損失は縮小。		一部地域ではロックダウンによる影響を受けるも、カーエレクトロニクス商品や無線機に加え、新規取引先などへの営業活動により卸売が増加。		2020年10月にSAB社の一部株式の譲渡と取得を行い、連結子会社から持分法適用関連会社に異動、現地主導のオペレーションへ。	

※表示単位未満切り捨て

# 2022年3月期3Q累計 ディーラー・BtoB・オンラインアライアンス事業 売上高・営業利益推移

## ディーラー・BtoBは堅調に推移も、先行投資などのコスト増あり



※1 2021年3月期より、「国内オートバックス事業」に所属していたICTプラットフォームを推進・管理する部門を「ディーラー・BtoB・オンラインアライアンス事業」に、ライフスタイル事業等を推進・管理する部門および一部の連結子会社を「その他の事業」に、それぞれ移管しています。

※ 2020年3月期は、組換え済の数字です。

※表示単位未満切り捨て

# 3Q ディーラー・BtoB・オンラインアライアンス事業概況

## ディーラー事業

- ✓ 2021年4月、Audi正規ディーラーを運営する(株)TAインポートの全株式を取得（BMW、MINIに続く、3つ目のブランドの展開）
- ✓ 半導体不足による新車減産の影響を受けるも、営業活動の最適化などにより、収益は前年を上回る



## BtoB事業

- ✓ 2021年4月、関東近郊で車検・整備・タイヤ販売を運営する(株)ジョイフル車検・タイヤセンターの全株式を取得
- ✓ 2021年4月、日産自動車(株)と業務提携  
新車カタログにカー用品掲載、「キックス コロンビアエディション」のインテリアアイテムを企画・開発
- ✓ オートバックス法人会員制度を2021年11月より本格稼働

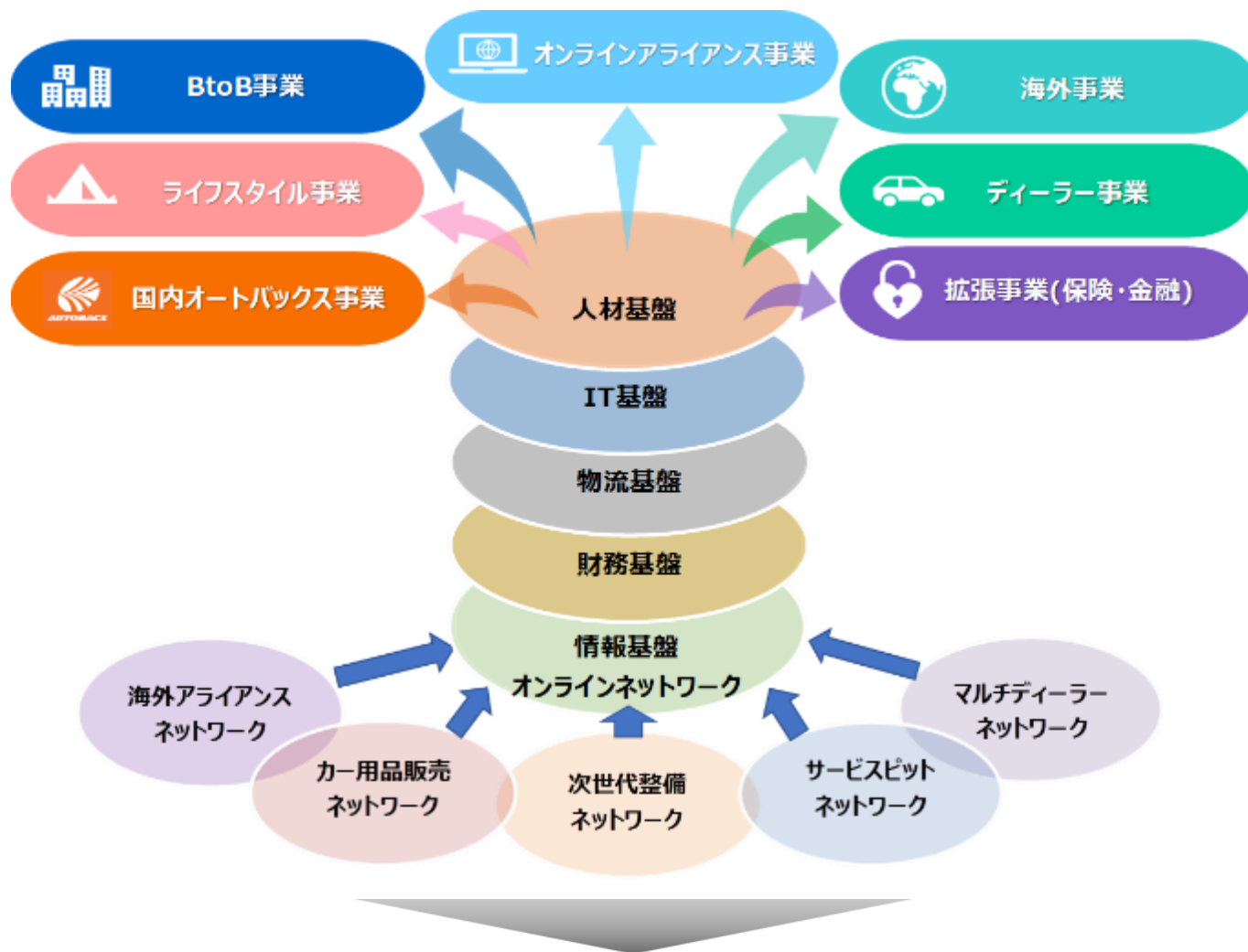


## オンラインアライアンス事業

- ✓ 2021年10月、クラウド型の酒気帯びアルコールチェッカー「ALCクラウド」の法人向けサービス開始



# 5年ローリングプラン 参考資料



お客様の利便性向上のため、事業者の垣根を越えた連携を積極的に推進

# 5カ年ローリングプラン 参考資料

次世代整備  
ネットワーク

## ■ Tesla Motors Japan(同)と車検・点検に係わる純正部品供給契約を締結

- A PIT AUTOBACS SHINONOME (東京都江東区)にて純正部品の交換をとまなう車検および法定点検が可能に



## ネットワーク構築の取り組み

### ■ EV市場への参入

- オートバックス店舗でEV車両 (ELEMO) の販売・メンテナンス、新規サービスの共同開発の分野で連携・協業していくことについて検討



EV普及の推進による環境負荷の低減を目指す

# 5年ローリングプラン 参考資料

カー用品販売  
ネットワーク

## ネットワーク構築の取り組み

### ■ 日産自動車(株)との協業状況

- お客様の利便性の向上および豊かなカーライフ文化の創造を目的に、業界の垣根を越え、日産自動車(株)と業務提携
- 新車カタログにカー用品（車内用品・洗車用品など）を掲載
- 日産ディーラー約2,100店舗で取り扱い
- 日産自動車(株)向けの一部カー用品の供給やNISSAN/NISMOブランドグッズの共同企画・開発を検討
- 海外の日産ディーラー向け商品供給についても協議開始
- 特別仕様車「キックス コロンビアエディション」のインテリアアイテムを企画・開発



2021年4月 業務提携

右：当社 代表取締役社長執行役員：小林喜夫  
左：日産自動車(株) 専務執行役員グローバル  
アフターセールス担当：ケント オハラ氏



2021年11月



電子タバコホルダー



スマートフォンホルダー



USB電源



アンブレラケース

2021年8月

NISSAN AURAのカタログより

# 5年ローリングプラン 参考資料

## ■ Audi正規ディーラー3拠点の運営

マルチディーラー  
ネットワーク

- BMW、MINIに続く、3つ目のブランドの展開
- 各社ディーラー共通のKPI設定により経営の見える化を推進



2021年4月 (株)ボックス・アドバンスとして運営開始

## ネットワーク構築の取り組み

## ■ AUTO IN車検・タイヤセンター

次世代整備  
ネットワーク

サービスピット  
ネットワーク

カー用品販売  
ネットワーク

- 店舗の屋号を「AUTO IN車検・タイヤセンター」へ新装し、運営開始
- ナショナルブランドタイヤをオートボックスの商流に変更
- 全店特定整備認証取得を目指す



2021年4月 (株)BACS Bootsとして運営開始

# 5年ローリングプラン 参考資料

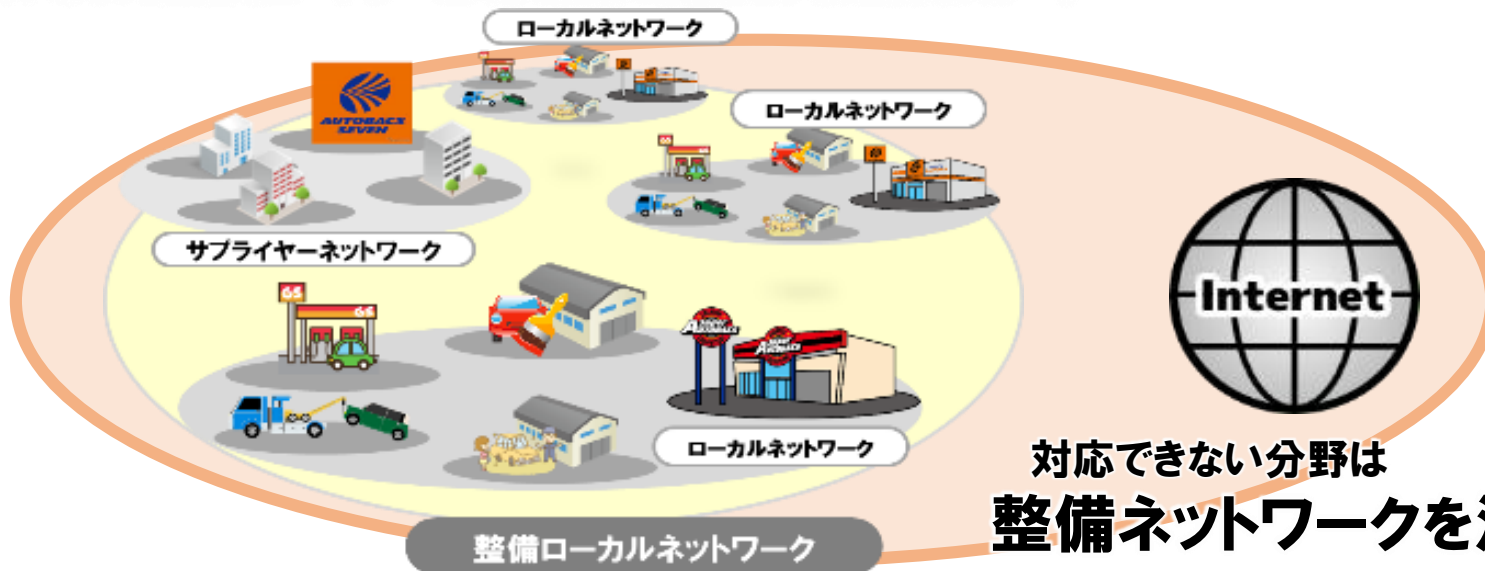
次世代整備  
ネットワーク

サービスピット  
ネットワーク

## ネットワーク構築の取り組み

### ■ 整備ローカルネットワーク構築

- 整備業界を取り巻く環境の変化に素早く対応できる体制構築により、自動車ユーザーに質の高いサービスを提供する体制を構築
- オートバックスグループ店舗とBSサミット※の組合員工場が、双方の資源を用いて最適な地域連携を促進することで、整備におけるローカルネットワークを構築（全国50エリア中20エリアでネットワーク連携）
  - ※日本全国に自動車整備の拠点を持つ、ボディショップ全国ネットワークである事業協同組合
- オートバックス店舗をロードサービス事業者の拠点とする連携もスタート





# 5年ローリングプラン 参考資料

次世代整備  
ネットワーク

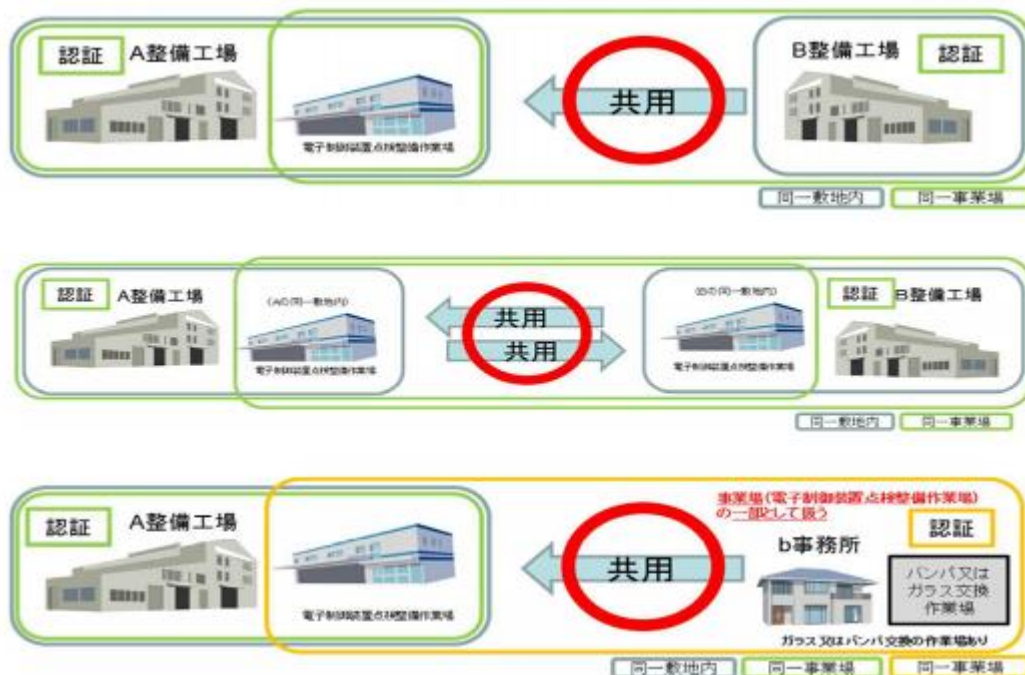
サービスピット  
ネットワーク

## ネットワーク構築の取り組み

### ■「キャリブレーションエリア※」の新設

※ 最近のクルマには、自動ブレーキなど安全運転をサポートする機能が多数搭載され、フロントガラスやバンパーにカメラやセンサーなどが取り付けられている。このため、高度な機能が正常に機能しているか、**校正（キャリブレーション）**が求められる。

- 2021年7月、スーパーオートバックス・熊本東バイパス店に、先進安全自動車のセンサー類のエーミングを行うための設備を設置、地域の共用工場として近隣の整備事業者も活用可能に
- オートアフターマーケット業界の垣根を超えた連携を推進することで、クルマの利用者にとって、利便性が高い「整備ネットワーク」を構築



# 5年ローリングプラン 参考資料

## ■ クラウド型酒気帯びアルコール チェッカー法人向けサービス開始

オンライン  
ネットワーク

- ・ 飲酒運転の撲滅を目指し、企業や官公庁・自治体などの社用車や、マイカーを業務活用するお客様に向け、クラウド型の酒気帯びアルコールチェッカー「ALCクラウド」のサービスを2021年10月開始



## ネットワーク構築の取り組み

### ■ オートバックスアプリがバージョンアップ

カー用品販売  
ネットワーク

- ・ 2021年10月、主要メンテナンス項目（エンジンオイル・オイルフィルター・タイヤ・バッテリー・ワイパー等）の作業履歴や次回交換お知らせ機能を追加
- ・ 点検結果をアプリで即時確認可能に

オイル交換WEB予約※

**約50%増**

※ 2021年4月～12月累計前年比

アプリダウンロード累計数

**約260万DL**

※ 2021年12月時点

アプリで  
メンテナンス時期を  
もう見逃さない



# 5カ年ローリングプラン 参考資料



ライフスタイル事業

## 各事業の取り組み

ゴードン ミラー

クラマエ

### ■ブランド初の店舗「GORDON MILLER KURAMAE」を出店

- ・ ガレージライフスタイルブランド「GORDON MILLER」が初の店舗を出店
- ・ 全国で唯一、GORDON MILLERブランド全アイテムを取り扱い
- ・ オリジナルのカスタムカー「GORDON MILLER MOTORS」をラインアップ



# 5年ローリングプラン 参考資料



ライフスタイル事業

エーアールティーエー      メカニクス

## ■「ARTA MECHANICS」より第一弾のカスタムカー「LEGAVELO」を発表

- レーシングスポーツブランド「ARTA」の新カスタマイズブランド「ARTA MECHANICS」より第一弾のカスタムカー「LEGAVELO」を東京オートサロン2022にて発表



ARTA  
MECHANICS



## 各事業の取り組み

リガヴェロ



左：当社 代表取締役 社長執行役員：小林 喜夫 氏  
右：ARTA Project プロデューサー：鈴木 亜久里 氏

# 5カ年ローリングプラン 参考資料

## 物流基盤

## 事業基盤構築の取り組み

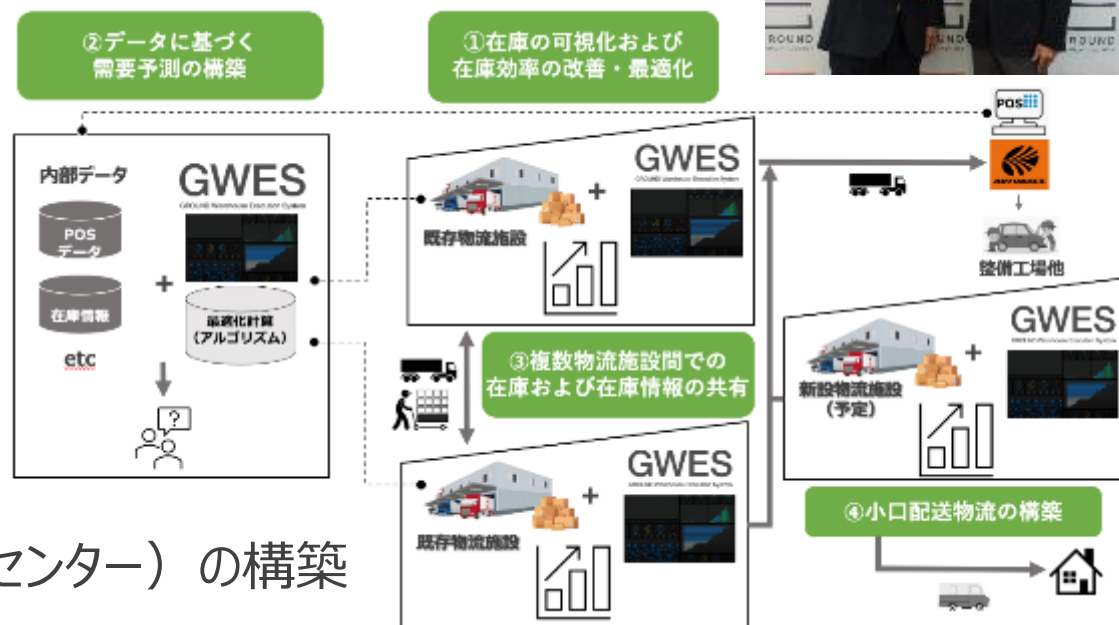
- AIを活用した物流DXによる物流改革 (2022.01.26)  
～物流ソリューションを提供するGROUND(株)へ資本参加し、業務提携契約を締結～

- 物流拠点の「在庫」を可視化・商品調達の最適化
- 2026年度までに現在の約20%の在庫を削減



### <業務提携の取り組み>

- 1 在庫の可視化・効率化
- 2 AI活用による需要予測
- 3 物流施設間の在庫および在庫情報の共有
- 4 小口配送物流（EC物流センター）の構築



# ESG・SDGsに関する取り組み

取締役会での討議を経て、マテリアリティを特定

## 当社が実現したい社会像

人とクルマと環境が調和する  
安心・安全でやさしい社会

## 当社が実現したい会社像

プロフェッショナルで  
フレンドリーな存在

## 当社が積極的に解決すべき社会課題



## マテリアリティ

### 1 社会課題を解決する事業の創出

- ・ SDGsに貢献する新規事業開発/オープンイノベーション/EVへの対応 など...

### 3 成長し続ける組織・人財

- ・ 次世代人材・整備士の育成/働き方改革/健康経営/D&I など...

### 2 環境・社会に配慮した取組の充実

- ・ 省エネ等のCO2削減/環境負荷を低減/地域社会との共生 など...

### 4 持続可能かつ強固な経営基盤

- ・ ESG経営/デジタルトランスフォーメーション/社会貢献 など...

# ESG・SDGsに関する取り組み

## ■ ESG・SDGsに関する取り組みの推進状況

2021年5月： マテリアリティを発表

2021年9月： 全社プロジェクトへ移行、非財務目標の検討を開始

2021年12月： 取締役参加の会議にて検討中の非財務目標を中間報告



**ビジネスの成長とともに、環境・社会・ガバナンスを両立させ、  
持続可能性を高めて、中長期的な価値創造を実現していく**

# ESG・SDGsに関する取り組み

## ESG・SDGs推進プロジェクト体制図

**プロジェクトリーダー**  
代表取締役 社長執行役員

**推進統括（2名）**  
経理・財務・広報・IR担当執行役員  
人事・総務・法務担当執行役員  
**推進リーダー（2名）**  
経営企画部長、広報・IR部長  
**推進メンバー（6名）**  
経営企画部、総務部、人事部、広報・IR部

### マテリアリティごとにタスクフォースを設置

**1**  
社会課題を  
解決する  
事業の創出

**2**  
環境・社会に  
配慮した  
取組の充実

**3**  
成長し続ける  
組織・人財

**4**  
持続可能かつ  
強固な  
経営基盤

タスクリーダー：常務執行役員4名を含む執行役員（15名）  
タスクメンバー：課題に関連する部長・課長（44名）



# 自社株買いと消却について

## 自己株式取得

取得期間	取得株式の種類	取得株式の総数	取得価額の総額
2021年5月11日～ 2021年9月14日	当社普通株式	1,942,500株	2,999百万円

※発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合2.5%の200万株、3,000百万円を上限に実施

## 自己株式消却

消却実施日	消却株式の種類	消却株式の総数
2021年5月17日	当社普通株式	2,000,000株※

※消却前の発行済株式総数（自己株式を含む）に対する割合2.4%

《参考》

2021年12月末現在の自己株式の保有状況（連結）

発行済株式総数 82,050,105株

当社が保有する自己株式数 4,116,262株

（単元未満株式を含みます）

# 参考：収益認識に関する会計基準等の適用

## 2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」を適用

### 返品権付き販売

返品されると見込まれる商品の売上高および売上原価相当額を認識しない方法に変更

### 代理人取引

当社の役割が代理人に該当する取引は、売上高と売上原価を相殺した純額で収益を認識

### 顧客に支払われる対価

販売費及び一般管理費へ計上していた、顧客に支払われる対価は、売上高から減額

### 一時点又は一定期間にわたり充足される履行義務

顧客がメンテナンスの便益を受ける一時点または一定の期間にわたり収益を認識

### 収益認識に関する会計基準等の適用における影響額

	2022年3月期 第3四半期累計
(単位：百万円)	
連結売上高	▲8,018
売上原価	▲7,077
販管費	▲399
営業利益	▲542
経常利益	▲542

# 2022年3月期3Q累計 車買取・販売

台数合計 **21,610台** 前期比 **+2.6%**

業販	
内訳	売上台数
本部へ売却	612台
本部へ売却を委託	3,187台
店舗から直接	10,007台
<b>業販 合計</b>	<b>13,806台</b>

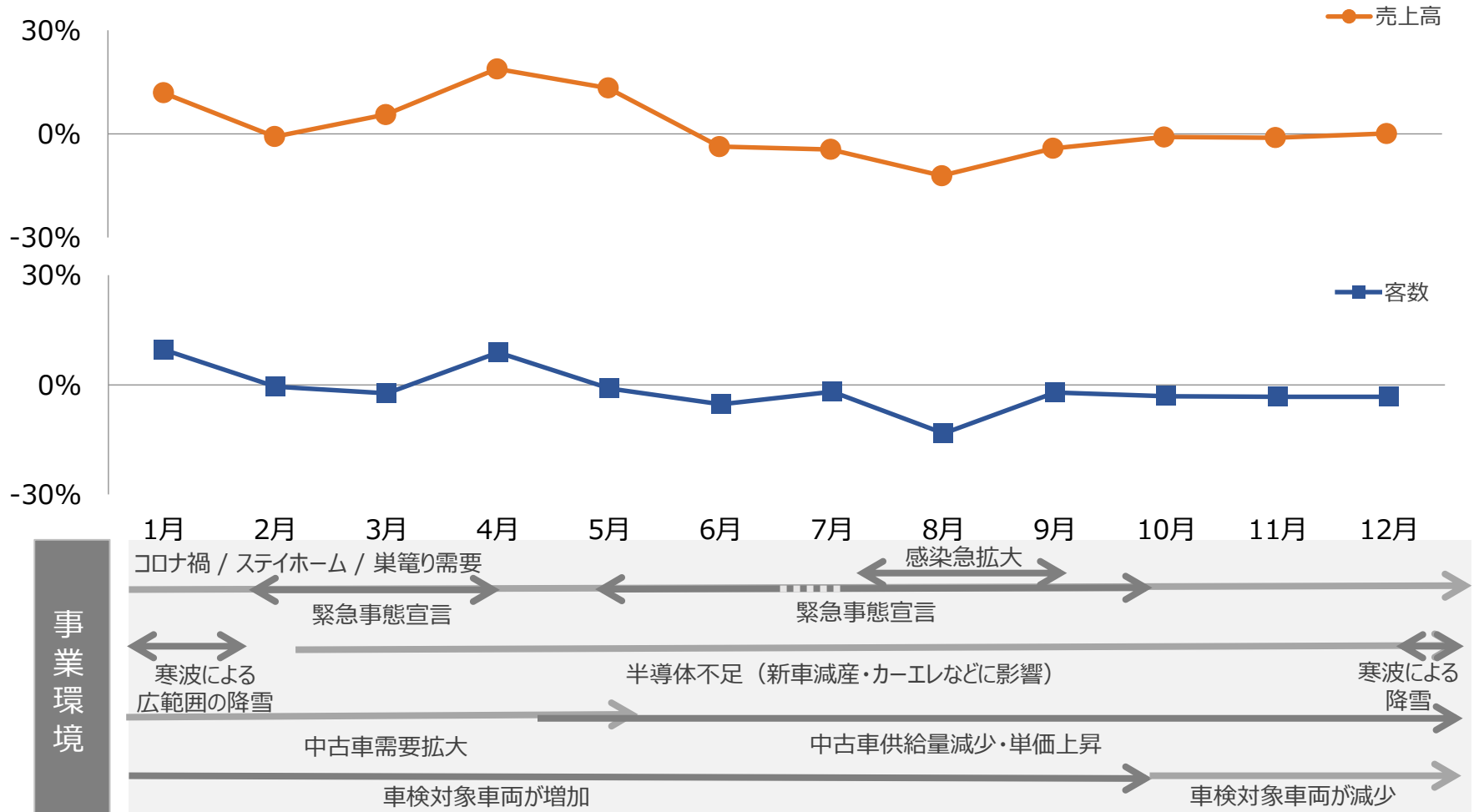
小売	
内訳	売上台数
中古車	5,225台
新車	2,579台
<b>小売 合計</b>	<b>7,804台</b>

※車買取専門店を含む全ての店舗における台数

# 国内店舗 売上・客数 既存店前年比推移

**3Q累計 既存店売上前期比 +0.1% 客数前期比 ▲2.8%**

国内オートバックスチェーン売上高および客数（既存店前年比）



※対象：国内オートバックスチェーン全業態

# 出退店の実績

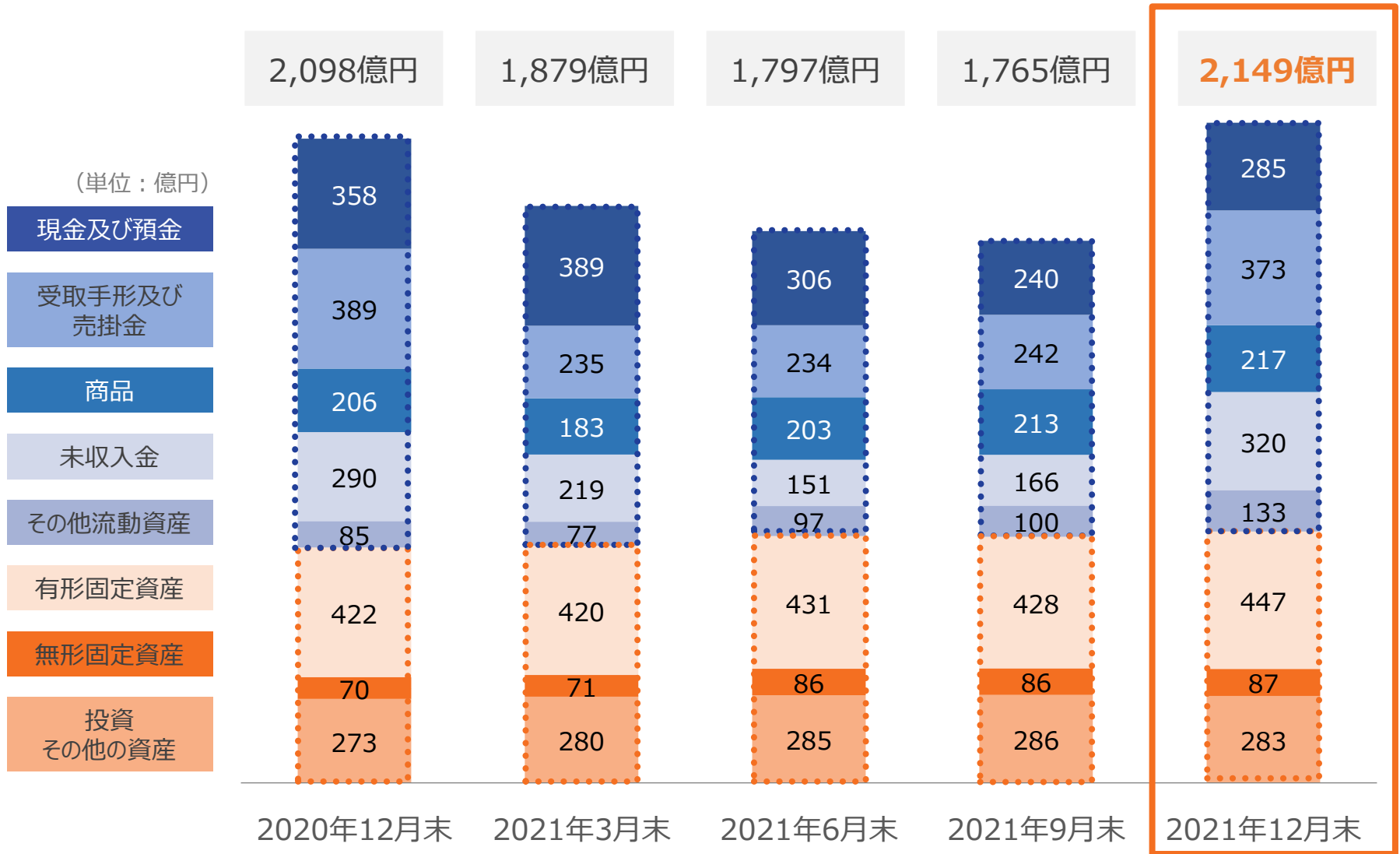
国内	21/3末	2022年3月期							22/3末
		3Q累計（実績）			21/12末	4Q（計画）			
		新店	S&B R/L	退店		新店	S&B R/L	退店	
オートバックス	490	+3	+2/▲2		493	+1			494
スーパーオートバックス	74				74				74
オートバックスセコハン市場	6				6				6
オートバックスエクスプレス	11				11				11
オートバックスカーズ	3				3				3
<b>国内計</b>	<b>584</b>	<b>+3</b>	<b>+2/▲2</b>		<b>587</b>	<b>+1</b>			<b>588</b>

海外	21/3末	2022年3月期			22/3末
		3Q累計 （実績）	21/12末	4Q （計画）	
フランス	10		10		10
タイ	17	+9	26	+9	35
シンガポール	2		2		2
台湾	6	+1/▲1	6		6
マレーシア	4		4	+1	5
インドネシア	3	+1	4	+1	5
フィリピン	3		3		3
<b>海外計</b>	<b>45</b>	<b>+10</b>	<b>55</b>	<b>+11</b>	<b>66</b>

※S/B：スクラップ&ビルド

※R/L：リロケーション（業態転換含む）

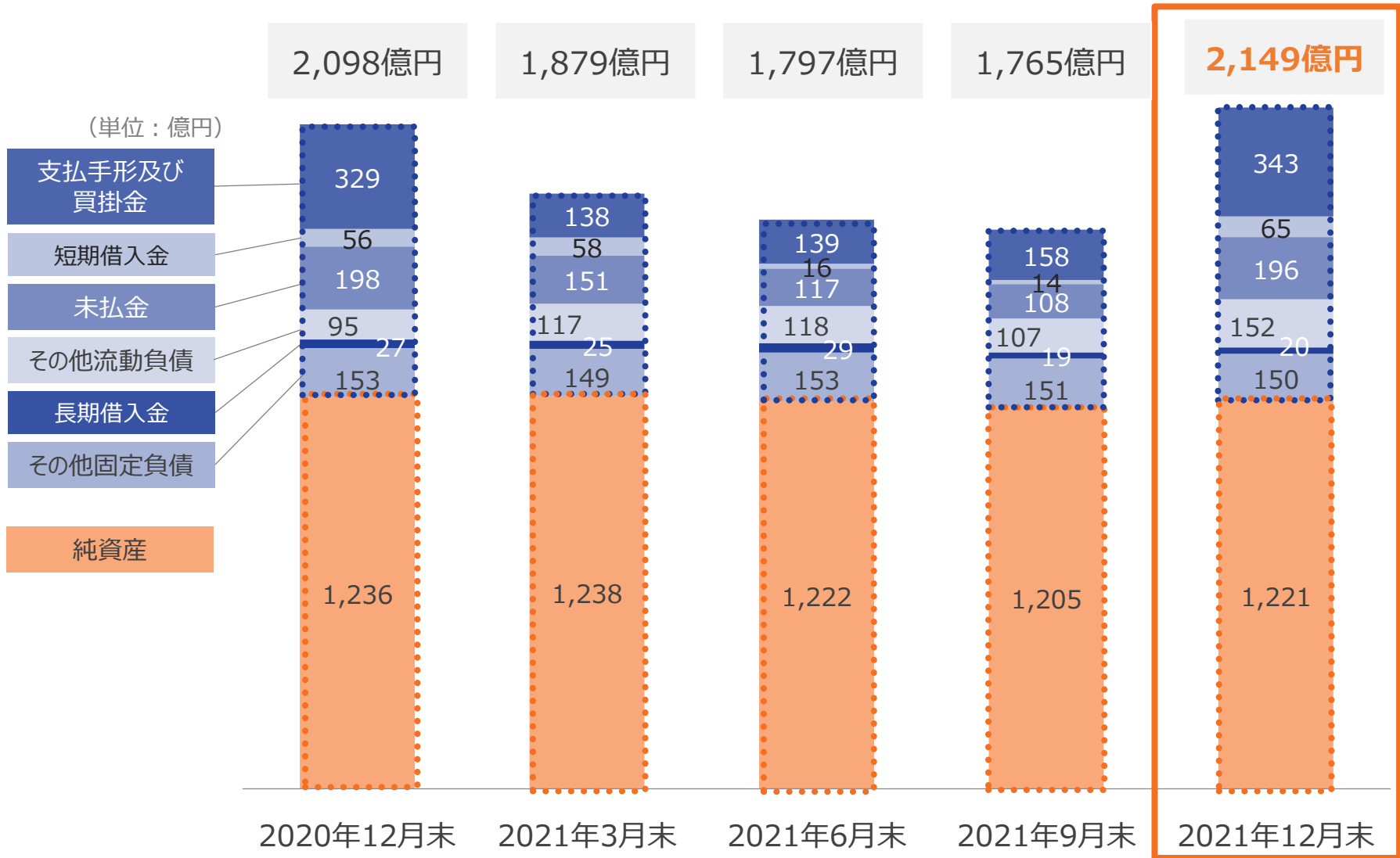
# 連結貸借対照表 資産の部



※表示単位未満切り捨て

※前連結会計年度以前については、新たな表示方法による組換えを行っておりません

# 連結貸借対照表 負債・純資産の部



※表示単位未満切り捨て

※前連結会計年度以前については、新たな表示方法による組換えを行っておりません



### 見通しに関する注意事項

当社の将来についての計画、戦略及び業績に関する予想と見通しの記述が含まれています。これらの情報は現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算出しており、今後の事業内容等の変化により実際の業績等が予想と大きく異なる可能性がございます。